



あ お ぞ ら い ち ば

## 【見出す力】

新型コロナウィルスは緊急事態宣言を経て世界を一変させました。現在は罹患者の数も減り、経済活動の再開等、少し安どの表情も見え始めています。但し、新型コロナウィルスが季節性インフルエンザウィルスのように、私たちの生活の中に「存在」する状況になるまではまだ多くの時間がかかりますし、今後私たちが過ごす「新しい生活様式」とは、感染を防ぐため人と人の距離を保つ生活です。

私たちは、日本人が積み重ねてきた、気づかいや助け合いという文化があったからこそ、ロックダウンもせずに感染を防ぐことができたのかもしれません。新しい生活様式を取り入れ過ごす中で、この築き上げてきた文化を取り戻すことができるのでしょうか。

文化や伝統、芸術はデジタルやAIが受け継ぎ、積み重ねるとはできないと考えています。表面上の感動はあるかもしれない、音楽をCDで聴き楽しみ、画面で絵画を見て安らぐ満足はありますが、芸術や文化とは、その媒体を通じ共に感じあう中に生まれる表情の継承が文化であるのではないでしょうか。音楽をライブで聴き、感じ、体が動き、絵画の表情を実際に見て、感じ、体感した後、空を見上げてほほ笑みあうことが文化の創造ではないのでしょうか。

新型コロナウィルスは、その文化を変える必要性のあることを、新しい生活様式として表現しました。文化を創造する人は限られた人だけではありません。私たち全員、見て、聴いて、感じたことがその人の中に宿り、様々な場面でその人から発信され、その継続が文化を創造していきます。

人はいついかなる時でも「見出す力」を持っています。大変な時期を我々は迎えていますが、見出した力を表現していくことこそが、この事態を乗り越える力だと考えます。

メディアでは、応援メッセージが頻繁に流れています。メッセージを発信した人は発信したことさらに自己表現として昇華させ、メッセージを受け取り感動した人は、その中から生まれる新たな力を、他者に伝えていく場面がある社会になれるを見出し、前進していきたいと考えています。

理事長 坂本光雄

## 外部受け入れについて

### ▽ボランティア活動(受け入れ)

日頃、ボランティア活動として多機能みのりのお手伝いをして頂いている7名のボランティアさんの受け入れに関しましては、狭山市社会福祉会館の状況を基準として、7月より再開を致します。



### ▽実習生受け入れ

介護等体験実習生・保育実習生・介護福祉士実習生・特別支援学校実習生などに関しましては、各学校と調整したうえで8月頃から実習生の受け入れを行って参ります。

## 新型コロナウィルス感染拡大防止の為の取り組み

厚生労働省より福祉施設向けに提供されました、布マスク(140枚程)を各ご利用者に1枚づつ配布をさせて頂きます。現在、マスク不足は解消されつつあり埼玉県の緊急事態宣言及び特定警戒都道府県の解除された所であります。新型コロナウィルス感染症が完全に無くなったわけではなく、第2波なども懸念されます為、布マスクをご使用ください。

※ご利用者でマスク着用が可能な方は、施設利用の際はマスクの着用の継続をお願いします。

～布マスクを洗う際には以下の点を特に注意してください～

- ・もみ洗いではなく、軽く押し洗い
- ・乾燥機は使わず、陰干しで自然乾燥
- ・十分なすすぎを行う
- ・柔軟剤の使用は避ける



